

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称
水戸市城東市民センター運営審議会
- 2 開催日時
平成27年7月1日（水） 午後1時30分から午後3時00分まで
- 3 開催場所
水戸市城東市民センター
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
中島 弘友, 井坂 照夫, 磯崎 孝子, 関山 ふみ子, 小林 靖
 - (2) 執行機関
浅野 一志, 岡部 美穂
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 平成26年度利用状況について (公開)
 - (2) 平成27年度城東市民センターの運営方針等について (公開)
 - (3) 平成27年度事業計画について (公開)
 - (4) 平成27年度定期講座募集状況について (公開)
 - (5) その他 (公開)
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数
なし
- 8 会議資料の名称
平成27年度 第1回水戸市城東市民センター運営審議会

9 発言の内容

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 議 題

議 長： 議題が（１）から（５）まででございますが、順序よく進めていきたいと思
います。

（１）平成 26 年度利用状況について、事務局より、よろしくをお願いします。

執行機関： （資料に基づき説明）

議 長： ありがとうございます。

ただ今 1 ページから 3 ページにわたりまして、事務局より御説明いただきました。どのページでも構いませんので、何か御質問・御意見等があればお願いします。

____委員： 1 ページの市民センター利用状況ですが、前年度より減ったというのは、高
齢者が多くなってだんだん利用できなくなってきたこと、65 歳くらいまで仕
事をしている人たちも増えてきたこともあり、来る人たちが少なくなってきた
いるのかなと思います。

執行機関： 市民センターは定期講座も含めた主催事業の利用状況なのですが、定期講座
数も毎年減っているのと、受講生も減っている。また、市民センターで行って
いる主催事業の参加者もだんだん高齢化で少なくなっていて、2,000 件近くの
減になっています。

____委員： その反面、社会教育関係団体は、高齢者になっても、ある程度まではボラン
ティアをしている役員ですよね。やることも増えているので、件数が増えて
います。

執行機関： そうですね。この社会教育関係団体は、子ども会連合会、高齢者クラブ連合
会、女性会等、いろいろな地区の組織の人たちの利用は活発ですね。

____委員： 城東の場合は、高齢になっても、社協や民生員等の役員さんが、長い間、
活躍されていることが分かりますね。

一般の人に限っては、高齢になれば次第に辞めていく、若い人たちは就業や
社会状況の関係もあり、これが自然なのかなとも思います。

議 長： いかがですか。

執行機関： 定期講座等の市民センター主催のものは、休んでも気にしなくてよい部分
がありますが、逆に社会教育関係団体というのは、参加しないと他の方に迷惑を
かけてしまう、責任感で参加しているというのはありますね。

でも、それが長生きの秘訣の一つ、健康寿命を延ばすことにつながるのだと
思います。

____委員： そうですね。だんだんそれが分かってきた気がします。みんなと一緒にいる
ことが健康寿命を延ばしているし、良いことなのかなと思います。

____委員： 先ほどの____委員の言う 1 ページの市民センター利用状況については、館外
事業を含むとなっていますが、3 ページを見ると、館内・館外件数が出ていま
す。城東の館外件数はとても低いということですが、他の地区では、例えば柳

河は件数が多いですが、このような所ではどのような事業をしているのですか。

執行機関： これは館外事業の中に、定期講座で行っているゴルフやグラウンドゴルフがあります。定期講座でも、河川敷やゴルフ練習場等の場所で実施しているクラブがあります。

___委員： 市民センターによって極端に違いますね。

___委員： そうですね。

___委員： こんなに違うというのは、地域性がありますね。

執行機関： そうですね。定期講座でも屋外でやる講座も人気があつて長く続いています。城東は、屋外でやる講座は基本的にないですね。

___委員： 女性会と高連は、グラウンドゴルフを独自で行っています。あくまでも主催は女性会です。人数的にはかなり多いです。

___委員： 保険の適用についてですが、市民センター主催の場合は、どうなのですか。

執行機関： 市民センター主催の場合は、公民館総合補償制度に加入しております。

___委員： 女性会主催で行っている時に、もし事故があつたりした場合の保険はどのようなになっているのですか。

___委員： 保険には入っていないですね。

___委員： そうですか。

そうすると、市民センターでやっていただいた方がよいのではないのでしょうか。

執行機関： 定期講座でグラウンドゴルフを行っていただければ、全てカバーできます。

___委員： そうですよね。

___委員： 考えた方がいいですね。保険も一緒に入ってもらえますね。

___委員： その方がいいですね。

執行機関： 定期講座だからと言って、講師の先生がどうしても必要というのでもありませんし、ベテランの方もいらっしゃるの、十分やっていけると思います。

___委員： そうですよね。

___委員： 実は、城東ふれあいサロンも市民センターに保険の確認をしたところ、別だという話を聞きましたので、現在保険の手続をしています。

執行機関： 市民センターで、城東ふれあいサロンをやる場合には適用になります。

___委員： 小学校でやるので、適用にならないのですね。

グラウンドゴルフは、小学校のグラウンドで行うと適用にならないのですか。

執行機関： グラウンドゴルフは、定期講座で行えば適用になります。

例えば、城東ふれあいサロンを市民センターで開催すれば対象になります。

___委員： そうですか。

それでは、グラウンドゴルフのことも考えてもらえば、保険に入れるということですね。

執行機関： 一番良いのは、定期講座でやることだと思います。

___委員： それでは、お互いもう一度見直してみましよう。

執行機関： はい。

議長： それではよろしいですか。

3 ページの市民センター利用状況の中で、施設名が1 番の三の丸から 31 番の大場までありますが、水戸市は 34 小学区ですよ。3 小学区がないというのは、どういうことでしょうか。

執行機関： 3つは、まだ市民センターではなくて、内原地区には内原中央公民館があります。

現在は、内原地域自治連合会という形で、公民館の中に事務局を設置して、これから内原地区に3つの市民センターを完成するための準備を進めています。

ですから、市民センターとしての事業は行っていません。

議長： それで、市民センターとしては、31 ということになるのですね。

執行機関： はい、そうですね。

議長： 公民館が1つあるということですね。

執行機関： はい、そうです。

議長： 公民館という流れの中では、32 という捉え方ですね。

執行機関： はい、そうですね。

内原地区だったら市民センターの代わりは内原中央公民館です。

議長： はい、分かりました。

では、1 ページから3 ページの(1)平成 26 年度市民センター利用状況については、よろしいでしょうか。

___委員： はい。

議長： では次に、平成 27 年度水戸市城東市民センター運営方針及び重点目標について、事務局からお願いいたします。

執行機関： ((2)平成 27 年度水戸市城東市民センター運営方針及び重点目標について説明)

議長： それでは、(2)平成 27 年度水戸市城東市民センター運営方針及び重点目標について、4 ページから6 ページにわたって御説明いただきました。

ここからは分割して御質問を受けていきたいと思います。

運営方針につきましては、どうでしょう。

何か御意見はありませんか。

___委員： 駐車場はここしかないのですか。

執行機関： はい、そうです。事業をやりたい時に、無理な時もあります。近所の方に御協力いただいて駐車させていただくこともあります。

___委員： 公園を駐車場にすることはできないでしょうか。

あまり遊んでいない公園があれば、近くだったらよいのではないかと個人的には思います。

市民センターの駐車場は、どこも狭いんですよ。

証明等の利用者がいても、駐車場がなくて入れなかつたりするので、もっと駐車場があればいいなと思います。

執行機関： 城東の場合は、近所で臨時的に駐車場の御協力をいただいている方が多いので、まだ良い方なのかなと思います。

現実的に、活動している内容と比例して、既存の駐車場では小さい方かなと思います。見ていただければ分かるように、すぐ駐車場が一杯になってしまいます。___委員の言われるように、駐車場が狭いのはここばかりではないので、拡大できるところは拡大していくという方向だと思います。

議長： それでは、運営方針については、御質問・御意見がないようですので、次に重点目標の第1地域コミュニティ活動の支援について、お伺いしたいと思います。

___委員： 地域防災活動との連携というところですが、今年は寒い時期ではなくて、行事も考慮して、10月はいろいろな行事がありますので、11月辺りにできればよいかと学校の方では考えています。12月だと寒くなってしまうたり、持久走大会もあつたりします。

議長： 11月はゆとりがありますよね。

___委員： 7日辺りの土曜日が良いかと考えています。2日を振替にしようと思つています。もともと「学校へようこそ」を考えています。

議長： 学校は土曜日の場合は、振替は可能なんですか。

___委員： 2日に振替を取ってしまう予定でいます。

___委員： そうすると1, 2, 3とお休みになるのですね。

___委員： 城東小学校は、今まで休日に授業参観がありませんでした。こういう時に充てればよいかと思つました。

はつきりは決まってないので、あるいは11月中旬の平日辺りにできればよいかと思つています。子どもたちも寒くなくて、外で防災体験もできるのかなと思つています。

せっかく昨年やっていたので、それを何らかの形で、毎年この辺りの時期にやればよいかと思つています。

議長： 私の方も昨年御協力いただいてありがたかったのですが、今___委員のおっしゃったように寒いということがありました。出来れば11月7日辺りでしたら行事も比較的少ないし、地域の方へのお声掛けもしやすいのかなと思つています。

___委員： 土曜日にするか平日にするかは考えてないのですが、どうでしょう。

議長： 土曜日の方が集まりやすいでしょう。

___委員： できれば、一般市民の人は土曜日の方が集まりやすいですね。

議長： 暫定的ですが、11月7日を目標に設定させていただいてよろしいですか。

___委員： それでは、平日よりも土曜日の方で検討させていただきます。

___委員： 月末になると忙しくなつてきます。

議長： 基本的に昨年と同じようにできるかどうかは、分かりません。

___委員： 中身はどうなるか分かりませんが、毎年負担なくできるような形を考えていければよいかと思つています。

議長： 地域安全課との連携も取らなくてはいけないので、この辺を目途にしましょう。よろしくお願ひします。

では、第2の生涯学習活動の推進についてはどうでしょう。

特に御意見はありませんか。

もしないようでしたら、次の議題に入らせていただいでよろしいでしょうか。

___委員：

はい。

議長：

次は、平成 27 年度事業計画についてお願いします。

執行機関：

((3) 平成 27 年度事業計画について説明)

議長：

はい、それでは 7 ページの平成 27 年度事業計画について、4 月、5 月、6 月から実施した項目も含めまして、御説明いただきました。本日以降につきましては予定でございます。未定の部分も含めまして、事業計画が説明されました。

何か御意見・御質問がありましたらお願いします。

ありませんか。

何もないようでしたら、(4) 平成 27 年度定期講座募集状況について、御説明をお願いします。

執行機関：

((4) 平成 27 年度定期講座募集状況について説明)

議長：

はい、ただ今 9 ページについて御説明いただきました。

何か御意見・御質問がありましたらお願いします。

応募人数が 0 という講座が多いようですが、これはどういうことなのでしょう
うか。

執行機関：

1 つには最初のスタートは良かったのですが、高齢化や現代的なニーズ
等いろいろなことがあるのだと思います。一番は、高齢化だと思います。

そのようなことで、定期講座合同開講式をやらせていただいた中で、募集を
かけたくない講座もあり、逆にコーラスのように 10 名も募集をかけてくれて、
どんどん入っていただきたいような講座もあるのですが、応募人数が 0 です。

ここで一点だけ分かっていただきたいのは 1 名という募集人員の講座です。
あとは、2 名のところですが。本当は自分たちでやりたいのだけれど、募集を
かけなければ定期講座にはならないと説明したところ、やむを得ず、募集したと
ころです。仲間で仲良くやりたいのであれば、定期講座は抜けて、サークルと
して自分たちで部屋を取った方がよいのではないかと、合同開講式ではお話し
したところですが。

___委員：

そうかもしれないですね。

今の定期講座で、他からは入らず、それでいいんだということであれば、
157 名募集して 34 名の応募では、サークルに移動していただくという形にし
なければと思います。

執行機関：

そうですね。

議長：

5 分の 1 ですね。

執行機関：

特に人気のあった歌謡や民謡も会員数自体が減ってきているというのが
実情です。歌謡は 38 名いたのに、今年は募集して 2 名入ったのにもかかわらず、
31 名の状況です。

___委員：

高齢化というのもあまり理由にならないと思います。高齢者がどんどん増え
ています。要するに、我々団塊の世代が高齢者になり、高齢者が増えていくの
だから、その人を取り込むのに何か問題があるのではないのでしょうか。

執行機関：　　そうですね。

議　　長：　　普通だったら、募集人員と応募人員が逆転しないとおかしいと思います。

執行機関：　　はい、そのとおりです。

議　　長：　　___委員が言ったように高齢化しているのは間違いありません。高齢化している我々が選択しないといけない、選択肢はたくさんあるのにもかかわらず、できない状況もあるのですが、応募しない、選択しないということですよ。

執行機関：　　60歳で定年して、今お勤めなされる方もいますが、63～65歳くらいの方がちがやってみようかなというのが、この講座にはないのでしょうか。

議　　長：　　逆に言うと魅力がないということですね。

___委員：　　募集人数が1人というのは、本当は入ってくれなくてもよいということですよ。

　　　　　　　定期講座のフラダンスがなくなったと言いますが、近くのフラダンス教室は一杯です。

___委員：　　個人でやっているのですか。

___委員：　　個人だと思います。

___委員：　　募集人数が少ないというのは、一般的に年齢が高齢化しているということではなく、クラブの中の会員自身でずっと長く在籍している方が高齢化しているんです。例えば、俳句クラブに1名入ったとして、教えていく段階があり、今まで基礎が出来上がっている人たちが進んでいて足を引っ張ってしまうので、今やっている会員で進んでいくのが一番良いのではないかと思います。

___委員：　　レベルがあるんですね。

___委員：　　コーラスも会員自身もとても高齢化しています。世間一般で言う高齢化とはちょっとニュアンスが違う気がします。

議　　長：　　今、俳句のことが出ましたが、市民センターに質問ですが、26年度の会員数が18で、募集人員が1で応募人数が0なのに、27年度の会員数が19ということは1人増えていますよね。

執行機関：　　これは、正式な応募期間には0だったのですが、その後、期間が過ぎてから応募があったということです。

　　　　　　　時々、見学したい方が来てくださるので、その方たちには御紹介するのですが、先ほど___委員から話があったように、やはり初心者で始めようとする人が入って見たら、一段も二段も上だとそこで尻込みしてしまうという人もいます。

___委員：　　ということは、教室という部分が欲しいんですよ。

執行機関：　　そうなんです。

___委員：　　もうサークルですよ。

執行機関：　　もしかしたら、現在教室はありませんが、先ほど___委員から話があったように、同じでも教室で初心者だけといった場合は入ってくるかもしれません。

　　　　　　　今回の合同開講式でも、募集しないところは来年度辺りからサークルに移行し、新規の教室をやらせてくださいというお話をさせていただきました。

___委員：　　定着している人は、20年以上、この定期講座に入っています。

____委員： 年も取りますね。

議 長： ここでリセットをかけるということも良いことではないでしょうか。

____委員： クラブもあってももちろんいいでしょうし、クラブとして存在するのは何年か限定して、新しい名前でも教室が増えれば一番良いのではないかなと思います。

執行機関： そうですね。

____委員： 料理教室でも一からやるというように募集すればいいと思います。
私は卓球に入れてもらいましたが、皆さんベテランですが、地域が長いので興じないで教えてもらっていますが、なかなかそうはいかないかもしれませんね。

____委員： ____委員のように、そのクラブに入っていっても自分の存在感がありますが、やりたい人が実力があつたとしても、入っても一人だけになってしまうことがあります。

____委員： そうですね。

執行機関： 市民センターで一番稼働率が良いのは、卓球ですね。

____委員： やっている人は、いろいろな市民センターや体育館に毎日のように行っています。卓球をやっています。

____委員： 高齢者で卓球をやっている人は多いですね。

____委員： 多いですね。

____委員： 初心者向けの教室を是非一回募集してみたいです。

執行機関： そうなんです。あまりにも募集人員が少ないし、募集人員が0のところは来年度からサークルに移行というお話をしたところ、1名か2名と入れてきたところがあります。

議 長： いろいろな意味で活性化を図るためには、リセットをかけて、新規まき直しが必要です。

執行機関： やはり、その定期講座の方々をサークルに移行するかそのような運営方針は、先ほど言ったように市民センターだけではできません。

議 長： 運営審議会の結論として、このような結論となりましたということで、そのような時には説明します。

____委員： その時には、運営審議委員と一緒に出席しましょう。

執行機関： そのような意味では一番重要な運営審議委員会です。

____委員： 市民センターばかりの責任ではなくて、審議委員会と一緒に出席して、説明は市民センターで行い、必要があれば審議委員が意見を述べるようにします。

議 長： 我々全員が出席をして、必要があれば意見を述べます。

____委員： そうということですね。

執行機関： 皆さんに最初に御説明する時は、そういう御意見がありますということで、今年合同開講式でも言ってきたので、来年度には教室を1つか2つ作った方がよいのではないかと思います。他では教室を作り、上手にサークルに移行していつているようです。城東ばかりではなく、他にもクラブだけというところもありますが、城東はここ何年か教室を作っていないと聞いて

います。

___委員： 教室となると、何人くらいいないとできないというのはあるのですか。
多分、急に教室を立ち上げて募集したとしても、なかなか人数には達しない
と思います。

何年か前には、男の料理と写真と、もう1つ男性向けのものが3つあり
ました。写真は、2年くらい続きました。先生が講師を続けられなくなって
なくなりましたが、かなり評判は良かったです。

___委員： 文化展で写真を展示したりしていました。

執行機関： 定年したり勤務の体系も変わり、時間ができたりするので、今年、柳河市民
センターでは、男の料理教室を開催しました。9名の募集があり、今開催して
います。

___委員： 男の料理教室も1年か2年でなくなってしまいましたが、かなりいろいろな
料理を作っていました。評判も良かったです。女の人でもよいということで、
役員さんも参加していました。

___委員： 地元で指導者がいらっしゃるということは、いいですね。

臨時講師として、お願いしてもいいですね。

___委員： 今のように月2回というのではなくても、月1回でもいいと思います。

器楽はクラブではなく、最初は独立して行っていて、かなり人気がありま
した。

___委員： 教室は来年1つ考えましょう。

執行機関： そうですね。

議 長： そのような方法で、考えていきましょう。

___委員： 今どんどん高齢者が増えていきますからね。

___委員： 男の人が入りやすいもので、何か考えるといいですね。

議 長： それでは、5番のその他に入らせていただきます。

その他何でも結構ですので、お願いします。

___委員： 今、生涯学習課より、子ども会に関するアンケート調査を取っています。

どこの地域でも子ども会がなくなってきていて、城東地区は、もともと子
ども会があったけれども、育成部会という独特の形なんだそうですね。

赤塚も子ども会がなくなり、他の地域は、子ども会の加入者が少ないとい
うことで、どうしたら子ども会の加入が増えるか、7月にアンケートを取っ
ています。

子どもと保護者でこれからのことを考えようかというのがあるようです。

ここでも、市民センター主催で様々なイベントが開催されていますが、そ
ういうのも一つの活性化の道筋になるのかなとも思いますし、この間の「と
もだちつくろう」でも昨年より参加者が多かった気がしました。子どもたちも
あのような機会があると、様々な子どもたちが縦割りや異なる学年で、様
々な経験をされることがよいのかなと思います。

ただ、上に立つ方は御準備等大変だと思うので、有り難いことだと私は思
っています。

育成部会で、ソフトボールもやってくれているんですね。

執行機関：　そうですね。

___委員：　土日中心にやってくれています。

___委員もその中に入って、やってくれています。

___委員：　子ども会という組織はないけれども、城東地区の子どもたちはそういった面でそういう方々がやってくれているので、恵まれていると思います。

___委員：　昔のように子どもが2、3人いると子ども会の役員をやっている期間が長くなります。今は、1年か2年で役員さんが変わります。長く指導してくださる方がいないですね。それが、存続につながるのだと思います。順番で役員となると、今度は、子ども会を辞めると言い出します。

___委員：　そうですね。

___委員：　大人の方たちもたくさん来てくれていますよね。

___委員：　そのように、面倒を見てくれている人があって、当番で役員をやるという煩わしさがなければいいのだと思います。

執行機関：　確かに育成部会で「ともだちつくろう」をやりましたが、それは子ども会がないので、子ども会のない学校は、子どもがかわいそうだから何かしようということで行いました。他は、夏休みでしたらプールに連れて行く、1泊でどこかに行く等、子ども会がやっています。子ども会があったとしても、子ども会事業がない、名前だけというものもあります。

育成部会でも「ともだちつくろう」をやっているところは、そんなにはないのではないのでしょうか。

___委員：　ないですね。

執行機関：　学校でいうと、31ありますが、どれくらいやっているんでしょう。

___委員：　ないと思います。

執行機関：　そうですね。

___委員：　今回、石川小でやっていますが、あんなに集まらないと思います。

梅ヶ丘はやっていないし、あれだけのことをやるというのは、大変な労力だと私は思います。

___委員：　かるた会はどこでやっているのですか。

___委員：　もともとは、市子連ですね。

___委員：　そうですね。市子連ですね。

___委員：　PTAの役員さんたちではないけれども、来てくれていますよね。

___委員：　来てくださっています。

___委員：　先日、日赤等の募金の件で、これだけ城東地区には共同募金から援助していますということをもっとPRするように社会福祉協議会へ言いました。

___委員：　確かに、何で募金しなくてはいけないのかということが出てきています。

___委員：　日赤病院になぜ募金するのかということになります。

___委員：　日赤病院に募金しているわけではありません。

___委員：　もっとPRしなければいけませんね。

___委員：　そうですね。

___委員： みんなたくさん貰っているんですね。ふれあいまつりでも貰っていましたよね。

___委員： ふれあいまつりも 50 万円ずつ 3 年貰いました。

___委員： そのように貰っているんですね。

そういうことを、もう少し皆さんに分かっていただいた方がよいと思います。

議 長： その他、ありませんか。

最後ですが、先日行われました城東ふれあいサロンについて、簡単に御説明をお願いします。

___委員： 昨年作成しましたコミュニティプランの第 5 ブロックで、スポーツレクリエーション部会と一緒にふれあいサロンの実施を掲げ、健康と福祉ということで、1 月くらいから準備を進めてきました。年度の始め 4 月に開講しようと思っていたのですが、6 月になってしまいました。

本日、___委員がいらしていますが、大変御協力いただき、小学校の空き教室で開所することになりました。

社会福祉協議会の方から、学校でサロンをやるということは、水戸市の中でも近隣でもないだろうということで、どのような経緯でできたのか聞かれました。開所したことに対し、すばらしいと絶賛していました。

この間も少しお話しさせていただきましたが、地域の皆さんが経過については、大変興味を持っていますので、何とか成功させたいと思っています。

___委員： 成功させたいですね。

___委員： 成功させたいです。

なかなか付いてきてくれる方ばかりではないので、参加した方の意見を聞きながら、サロンを進めていきたいと思っています。

先ほどもお話ししましたが、保険等の安全面を考えております。やはり、そのためにも、参加費 100 円というのは必要だと思います。100 円を取らなくてもいいだろうという話も聞いていますが、なぜ 100 円を取るのか、きちんと説明すれば、100 円というのはとても高いものではないと思います。参加する意識、いつ行っても参加できるというのではなくて、100 円払ったのだから 200 円楽しもうという考えでやっていただければと思います。

7 月からですが、回覧を回して、行う運びとなりました。

どうぞよろしくをお願いします。

___委員： 城東で始まったのは、遅い方ですか。

___委員： 30 番目くらいです。

___委員： 私が思うには、初めて立ち上げたのではない地区がたくさんあると思います。

高連の方でも、サロンを作るということが 5、6 年前から行われていて、城東ではやることに決めただけで、立ち上がりませんでした。他で立ち上がったところは、高連では金はないということで、共催になっているところがかなりあります。

___委員： 双葉台も、サロンを市民センターでやっているのですが、進んで行っています。渡里は、この間開所式を行ったところ。市民センターが基本でみんな

やっています。城東は、毎月第4土曜日にお部屋をとることができなかったので、___委員にお話ししたところ、どうぞ城東小学校を使用してくださいということでした。

議長： ありがとうございます。

コミュニティプランのこれからの活動の中で、最初にお願ひするという事ですので、御説明いただきました。

___委員： 御協力よろしくお願ひします。

執行機関： もう1つよろしいですか。

今のは高齢者の方を対象としたふれあいサロンでしたが、市民センターの中での新規事業といたしまして、子育て広場を予定しております。この1階学習室を使用いたしまして、月1回、10月か11月からのスタートを予定しております。

まだまだ詳細の打合せまでこぎつけていないのですが、これから調整に入ります。

小さなお子さんをお持ちのお母さんがお一人で育児に悩んだり、いろいろ相談したい時期や時間帯に、見ず知らずの人、仲間同士でも集まっていただき、いろいろな話をする場所を設けます。

その時に、赤ちゃんや小さなお子さんはどうするかというと、城東女性会の皆様が、ある程度子育てのための研修会を受けて、受講証を貼って、そして開催していただくということになります。

今年度だけで終わるのではなくて、スタートなので、だんだん人が来て盛況になるように、市民センターもバックアップしていきますので、そのような事業があることだけは、御報告したいと思います。

議長： はい、ありがとうございます。

これから新しい事業がどんどん出てくると期待しておりますので、よろしくお願ひします。

それでは、議題としては全部消化させていただきましたが、その他なければ以上で議長としての責務を終わらせていただきます。

ありがとうございます。

執行機関： それでは、会長、ありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、長時間にわたり、慎重な御審議をいただき誠にありがとうございました。

以上をもちまして、平成27年度第1回城東市民センター運営審議会を終了させていただきます。

本日は、誠に忙しい中、ありがとうございました。

(6) 閉 会